

専門分野Ⅱ 母性看護学 授業計画

授業科目及び時間数	母性看護Ⅳ 1単位 30時間		
開講時期	2年次 後期		
担当教員	生和朋子・岩倉五月	実務経験	有
科目のねらい・到達目標 ねらい 母性看護を実践するために必要な思考及び技術を学ぶ。 到達目標 母子の健康問題を判断し、対象のセルフケア能力を高める看護実践能力を養い、母性看護の在り方を考えることができる。			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 看護過程の考え方	講義（生和）	
2回目	1. 周産期事例による看護過程 1) 妊娠期	講義・課題（生和）	
3回目	1. 周産期事例による看護過程 1) 分娩期	講義・課題（生和）	
4回目	1. 周産期事例による看護過程 1) 産褥期	講義（生和）	
5回目	1. 周産期事例による看護過程 1) 産褥期	講義（生和）	
6回目	1. 周産期事例による看護過程 1) 褥婦と新生児	講義（生和）	
7回目	1. 周産期看護に必要な看護技術（産褥期における保健指導） 1) 自己乳房管理法	課題（生和）	
8回目	1. 周産期看護に必要な看護技術（産褥期における保健指導） 1) 沐浴指導	課題（生和）	
9回目	1. 帝王切開術を受ける事例の看護過程の展開について	講義（生和）	
10回目	1. 周産期に必要な看護技術 1) 妊娠期における看護技術（計測・触診・聴診）	演習（岩倉）	
11回目	1. 周産期に必要な看護技術 1) 産褥期における看護技術（乳房の観察とケア・子宮底測定）	演習（生和・岩倉）	
12回目	1. 周産期に必要な看護技術 1) 新生児期における計測とケア （バイタルサイン測定・身長、体重測定・更衣・おむつ交換・排気法）	演習（生和・岩倉）	
13回目	1. 周産期に必要な看護技術 1) 新生児の沐浴	講義・演習（生和・岩倉）	
14回目	1. 周産期に必要な看護技術 1) 新生児の沐浴	講義・演習（生和・岩倉）	
15回目	1. 沐浴技術試験	実技試験（生和・岩倉）	
評価方法	事例展開 40% 課題の内容と提出状況 30% 実技試験（沐浴）30%		
受講生に対するメッセージ	展開の速い周産期です。その母性看護の対象者を大切にできるように学んでください。また、実技試験は合格点に達するまで繰り返し実施します。		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 医学書院		
参考書	病気がみえる⑩ 産科 メディックメディア 根拠と事故防止からみた母性看護技術 医学書院 マタニティ診断ガイドブック 第5版 医学書院		